

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R1-13号)

令和元年8月30日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和元年8月28日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

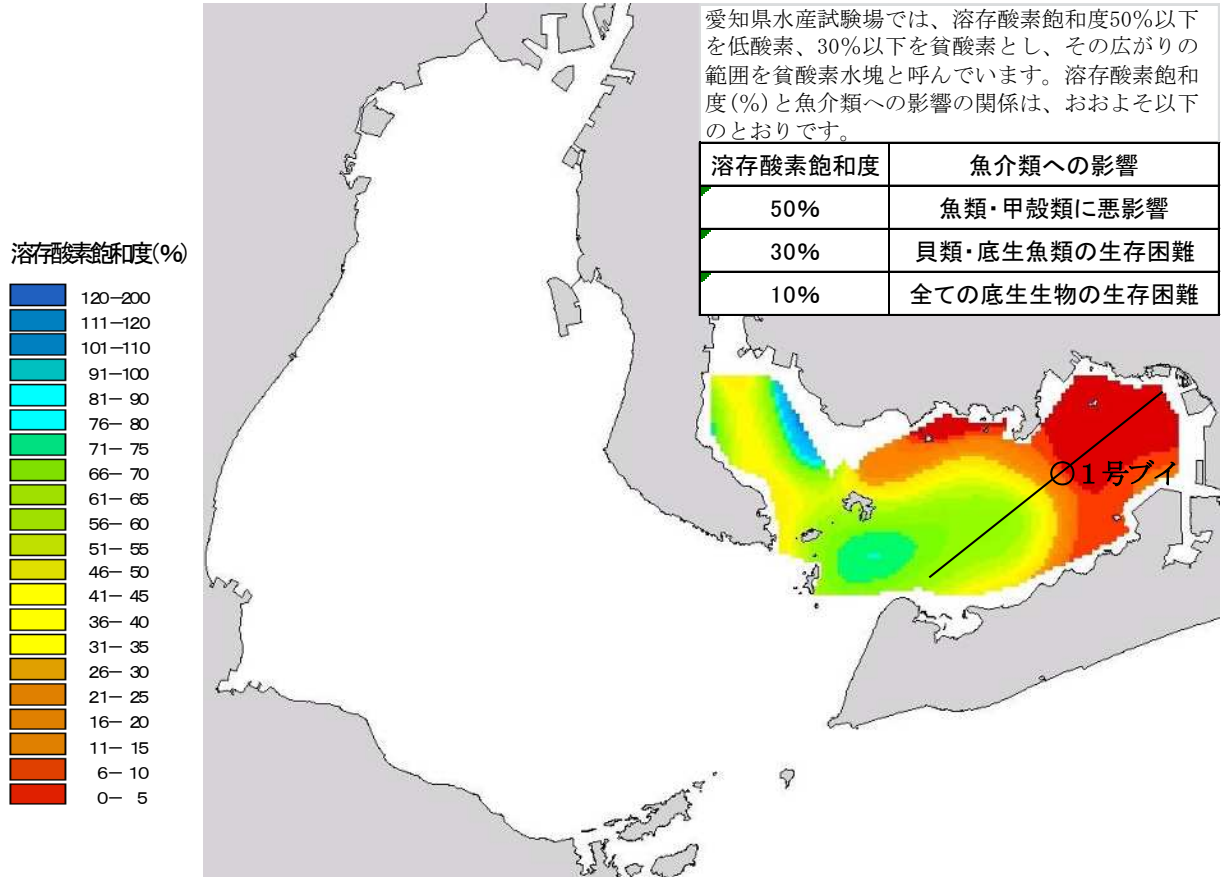


図1 三河湾（8月28日）底層の溶存酸素飽和度の分布（愛知県「へいわ」調査）

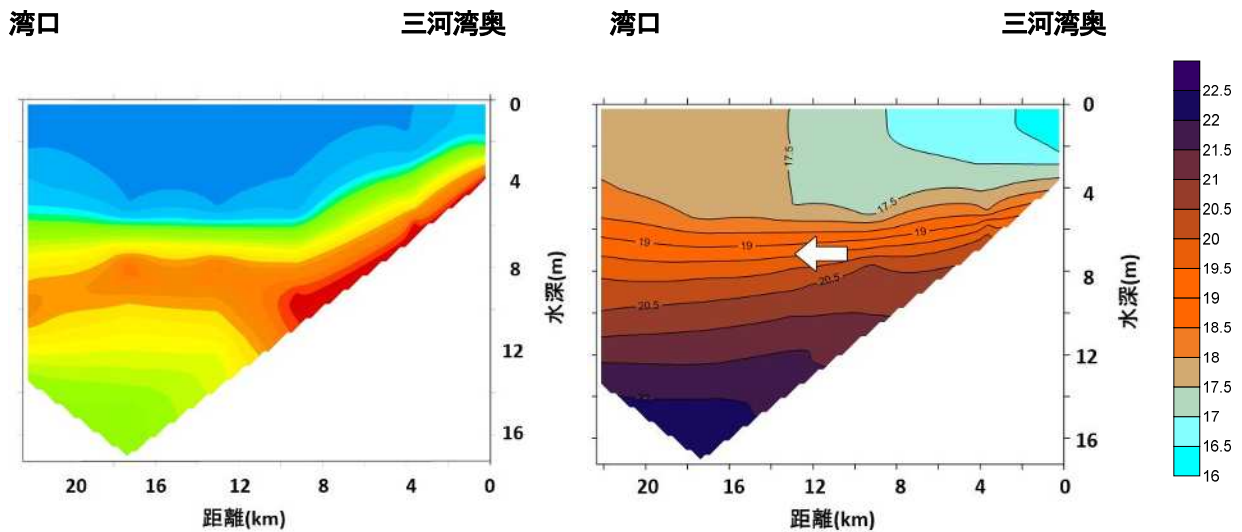


図2 上図直線部分の溶存酸素飽和度の鉛直分布（左図）及び密度（ σ_t ）の鉛直分布（右図）

三河湾

8月28日の調査結果を図1に示しました。降雨の影響により、表層から水深5mにかけて海水の密度低下がみられました。それ以深、水深10mにかけて水平方向に等密度の水塊が形成され、湾奥の貧酸素水塊がこの層を通り、湾口に向けて広がっている様子が観測されました(図2)。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ(蒲郡沖)のデータをみると、台風第10号以降に再び形成され始めた貧酸素水塊が、さらに発達している様子が観測されました(図3)。

今後は降雨の影響を受け、表層の塩分低下にともなう成層の発達により、貧酸素水塊の規模は維持されるものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.0~28.3	23.4~28.8
底層	23.0~27.9	28.6~33.5

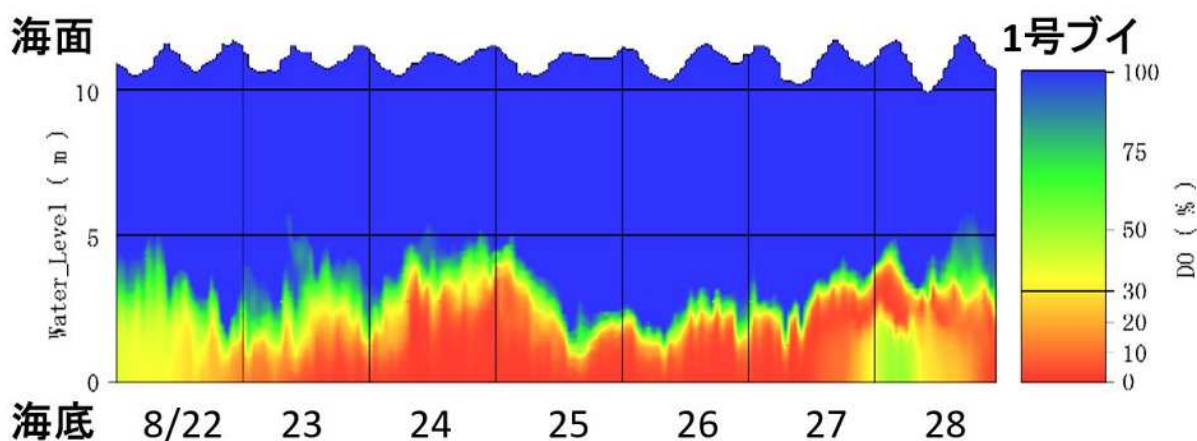


図3 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況(図4)

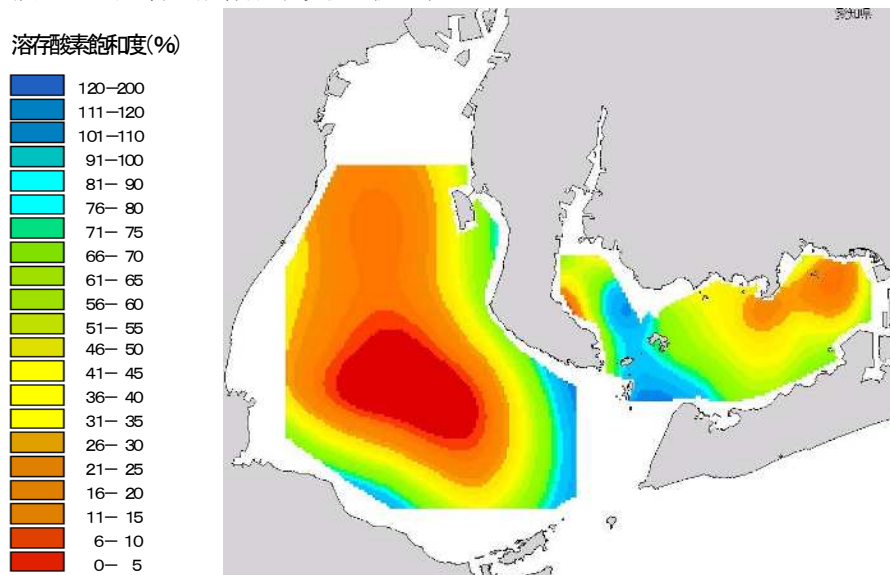


図4 令和元年8月5、6日(伊勢湾)、8月21日(三河湾)